

令和2年度 当初予算のポイント



目次

- 2年度予算編成のフレーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 一般会計当初予算の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 一般会計当初予算の概況
 - ・歳入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ・歳出（目的別・性質別）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 基本政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

●2年度予算編成のフレーム

「“大交流新時代”の幕開け」
 “豊かさ”を創造し、さらなる飛躍の時代の扉を開く積極予算

Challenge
 「挑戦」

Chance
 「好機」

「挑戦」と「好機」の新時代を切り拓く3つの視点

Cultivate
 「まち」
 の魅力を磨きます

Cheer
 「ひと」
 の活躍を応援します

Create
 「しごと」
 の機会を創ります

本市を愛し、想いを寄せてくださる皆さんと心をつなぎ、
 その情熱と行動力を結集

人・まち・みどり みんなで創る “豊かさ” 実感都市・かごしま

令和2年度当初予算

(単位：千円, %)

会計	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	277,111,000	57.4	267,033,000	57.9	10,078,000	3.8
特殊要素	2年度前倒し分	5,363,785	-	-	5,363,785	-
	元年度前倒し分	-	-	1,299,968	-	△1,299,968
※特殊要素を考慮した場合の一般会計	282,474,785	-	268,332,968	-	14,141,817	5.3
特別会計	131,887,000	27.4	127,185,000	27.6	4,702,000	3.7
企業会計	73,589,000	15.2	66,863,000	14.5	6,726,000	10.1
合計	482,587,000	100.0	461,081,000	100.0	21,506,000	4.7

● 一般会計当初予算の特色

I 予算規模

☆**過去最高**

一般会計予算規模 2,771億円 (+101億円)

前倒し分を含めた実質的な予算規模 2,825億円 (+141億円)

II 歳入の主なもの

○ 市 税	877億円	(△ 8億円 △ 0.9%)
	※ 地方税制改正による影響額△10億円、実質的には+2億円の増	
○ 地方消費税交付金	133億円	(+19億円 +16.7%)
○ 地方交付税	320億円	(+25億円 + 8.5%)
○ 国庫支出金	658億円	(+52億円 + 8.5%)
○ 市 債	275億円	(△14億円 △ 4.9%)
うち臨時財政対策債	86億円	(+ 1億円 + 1.2%)

III 歳出の主なもの

○ 基本政策ごとの予算額と主な事業

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち | 39億円 |
| ・東京オリンピック・パラリンピック事前合宿受入等事業 | |
| ・鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所設置事業 | |
| 2 健やかに暮らせる安全で安心なまち | 1,353億円 |
| ・おたふくかぜ予防接種事業 | |
| ・防災ラジオ導入事業 | |
| 3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち | 193億円 |
| ・ゼロカーボンシティかごしまPR事業 | |
| ・加治屋まちの杜公園(仮称)整備事業 | |
| 4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち | 25億円 |
| ・ベンチャー型事業承継推進事業 | |
| ・次世代農業担い手サポート事業 | |
| 5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち | 163億円 |
| ・パークゴルフ場整備事業 | |
| ・国民体育大会等開催事業 | |
| 6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち | 244億円 |
| ・“大交流新時代”都市空間整備事業 | |
| ・まちなか図書館(仮称)整備事業 | |
| 7 市民と行政が拓く協働と連携のまち | 46億円 |
| ・鹿児島ブランドメッセージ浸透拡散事業～通称 マグマシティ計画～ | |
| ・スマート自治体推進事業 | |

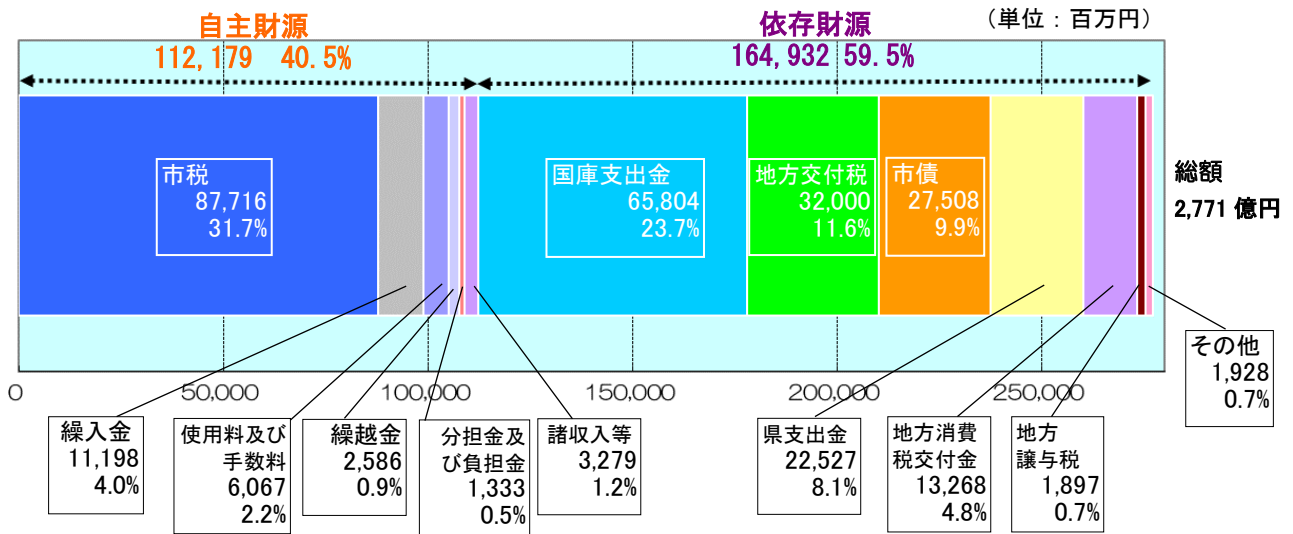
IV 基金と市債の状況

※市債は、臨時財政対策債を除いた額

☆**引き続き健全財政を維持**

- | | | |
|--------------|---------|-----------------------------|
| ○ 基金残高 | 2年度末見込み | 200億円 (△ 47億円) |
| ○ 市債残高 | 2年度末見込み | 1,541億円 (△167億円) |
| | | (うち公共下水道事業特別会計への移管分 △165億円) |
| ○ プライマリーバランス | | 0.8億円の黒字 |

●一般会計当初予算の概況（歳入）



一般会計歳入予算款別前年度比較表

（単位：百万円，%）

区分	款	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市税	87,716	31.7	88,490	33.1	△774	△0.9
	分担金及び負担金	1,333	0.5	2,050	0.8	△717	△35.0
	使用料及び手数料	6,067	2.2	6,162	2.3	△95	△1.5
	財産収入	272	0.1	290	0.1	△18	△6.2
	寄附金	456	0.2	456	0.2	0	0.0
	繰入金	11,198	4.0	9,927	3.7	1,271	12.8
	繰越金	2,586	0.9	2,363	0.9	223	9.4
	諸収入	2,551	0.9	2,557	1.0	△6	△0.2
小計	112,179	40.5	112,295	42.1	△116	△0.1	
依存財源	地方譲与税	1,897	0.7	1,791	0.7	106	5.9
	地方消費税交付金	13,268	4.8	11,373	4.3	1,895	16.7
	地方交付税	32,000	11.6	29,500	11.1	2,500	8.5
	国庫支出金	65,804	23.7	60,637	22.7	5,167	8.5
	県支出金	22,527	8.1	20,515	7.7	2,012	9.8
	市債	27,508	9.9	28,914	10.8	△1,406	△4.9
	その他	1,928	0.7	2,008	0.6	△80	△4.0
小計	164,932	59.5	154,738	57.9	10,194	6.6	
合計	277,111	100.0	267,033	100.0	10,078	3.8	

増減の主なもの

（自主財源）

市税 ・ 固定資産税（+6.8 億円）・法人市民税（△11.8 億円）・個人市民税（△2.9 億円）

※ 地方税制改正による影響額△9.4 億円、実質的には+1.7 億円の増

分担金及び負担金 ・ 保育料（△7.2 億円）

繰入金 ・ 建設事業基金繰入金（+5.0 億円）・市債管理基金繰入金（+3.7 億円）

（依存財源）

地方消費税交付金 ・ 社会保障財源交付金の増（+22.4 億円）

地方交付税 ・ 普通交付税（+25.0 億円）

国庫支出金 ・ ごみ処理施設整備事業費（新南部清掃工場整備・運営事業費）（+44.0 億円）

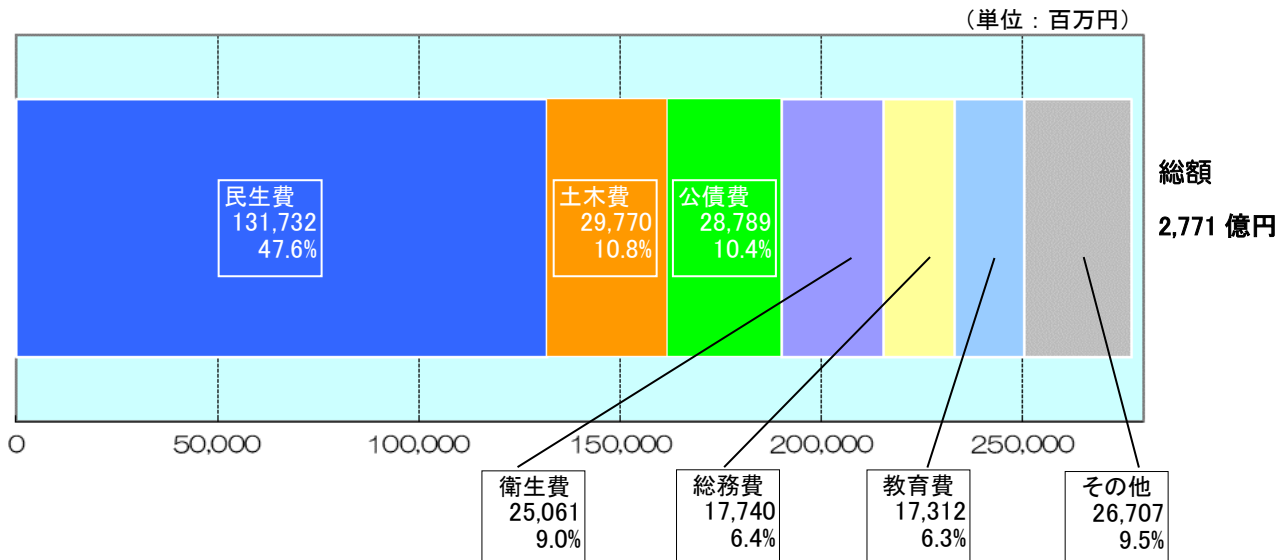
・ 児童福祉費（施設型給付費等）（+13.8 億円）

県支出金 ・ 児童福祉費（施設型給付費等）（+9.4 億円）・国体推進費（国体会場市町村運営交付金等）（+6.4 億円）

市債 ・ ごみ処理施設整備事業債（+38.7 億円）・都市計画事業債（△17.3 億円）

・ 義務教育施設等整備事業債（△13.2 億円）・介護老人福祉施設等整備事業債（△8.4 億円）

●一般会計当初予算の概況（歳出・目的別）



一般会計歳出予算（目的別）前年度比較表

(単位：百万円、%)

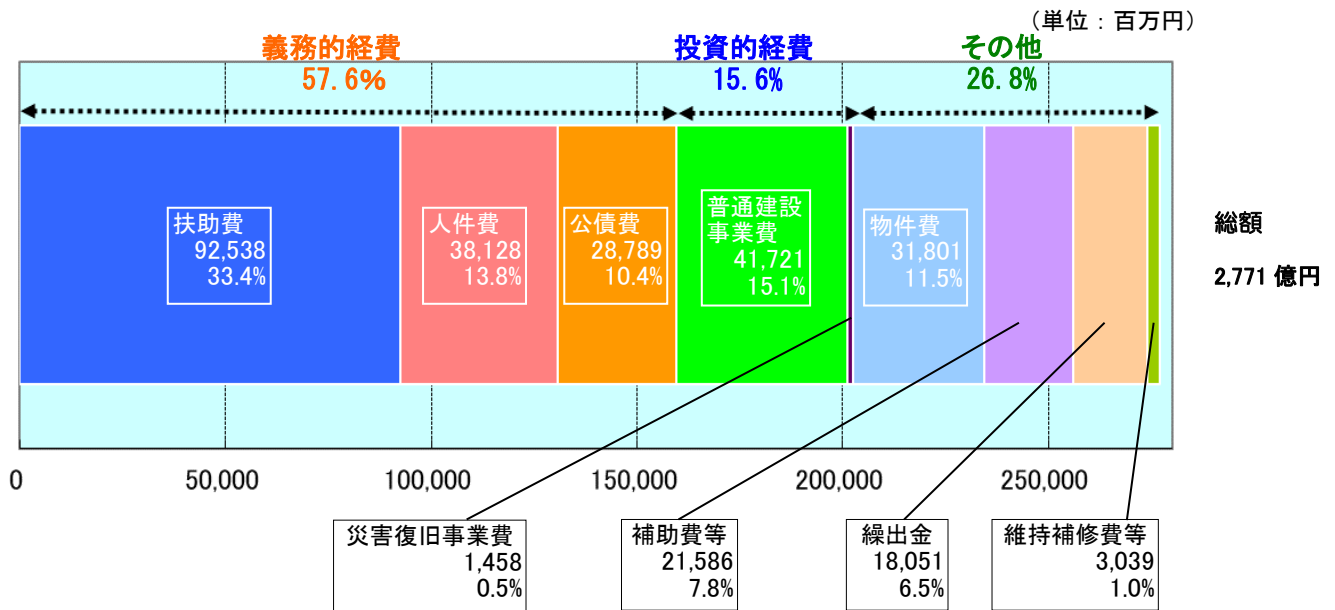
款	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,057	0.4	1,115	0.4	△58	△5.2
総務費	17,740	6.4	17,190	6.4	550	3.2
民生費	131,732 (131,750)	47.6	129,944 (129,971)	48.7	1,788 (1,779)	1.4 (1.4)
衛生費	25,061	9.0	16,061	6.0	9,000	56.0
農林水産業費	2,343	0.8	2,481 (2,489)	0.9	△138 (△146)	△5.6 (△5.9)
商工費	10,326	3.7	9,517	3.6	809	8.5
土木費	29,770 (30,741)	10.8	31,901 (31,959)	11.9	△2,131 (△1,218)	△6.7 (△3.8)
消防費	6,380	2.3	5,754	2.2	626	10.9
教育費	17,312 (21,687)	6.3	18,848 (20,055)	7.1	△1,536 (1,632)	△8.1 (8.1)
災害復旧費	1,458	0.5	1,354	0.5	104	7.7
公債費	28,789	10.4	30,082	11.3	△1,293	△4.3
諸支出金	5,043	1.8	2,686	1.0	2,357	87.7
予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
合計	277,111 (282,475)	100.0	267,033 (268,333)	100.0	10,078 (14,142)	3.8 (5.3)

※()内は前倒し分を含む

増減の主なもの

総務費	・個人番号カード交付事業 (+3.6 億円)	・国勢調査 (+2.9 億円)
民生費	・障害福祉サービス給付事業 (+10.0 億円)	・施設等利用給付費等事業 (+9.2 億円)
衛生費	・新南部清掃工場整備・運営事業 (+87.0 億円)	・定期予防接種事業 (+1.8 億円)
農林水産業費	・森林環境譲与税基金積立金 (+0.9 億円)	・降灰地域防災営農対策事業 (△0.9 億円)
商工費	・国民体育大会等開催事業 (+15.1 億円)	・国体関連スポーツ施設等整備事業 (△4.8 億円)
土木費	・谷山第三地区土地区画整理事業 (+7.0 億円)	・千日町1・4番街区市街地再開発事業 (△7.5 億円)
消防費	・消防車両等高性能化事業 (+1.4 億円)	・救急救命体制の充実・強化事業 (+0.9 億円)
教育費	・まちなか図書館(仮称)整備事業 (+3.7 億円)	・校舎・屋体等整備事業 (△16.6 億円)
公債費	・都市計画事業債償還金 (△15.4 億円)	
諸支出金	・公共下水道事業に対する繰出金 (+21.1 億円)	・交通事業に対する繰出金 (+2.5 億円)

●一般会計当初予算の概況（歳出・性質別）



一般会計歳出予算（性質別）前年度比較表

（単位：百万円，%）

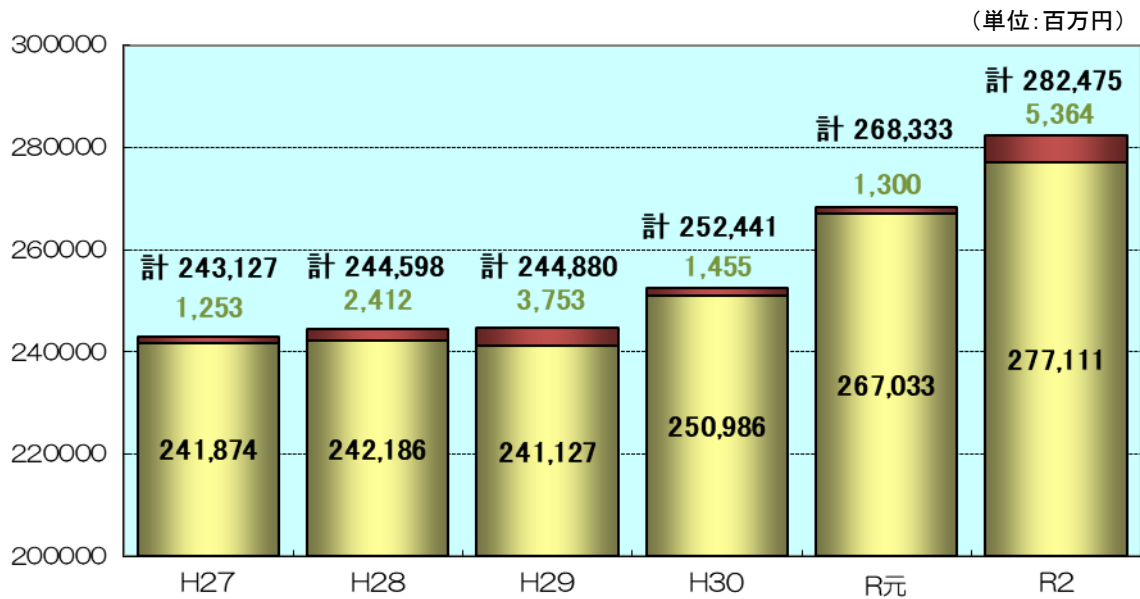
区分	性質別	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	38,128	13.8	35,311 (35,312)	13.2	2,817 (2,816)	8.0 (8.0)
	扶助費	92,538	33.4	89,560	33.5	2,978	3.3
	公債費	28,789	10.4	30,082	11.3	△1,293	△4.3
	小計	159,455	57.6	154,953	58.0	4,502	2.9
投資的経費	普通建設事業費	41,721 (46,571)	15.1	41,043 (42,295)	15.4	678 (4,276)	1.7 (10.1)
	補助	26,933 (31,783)	9.7	20,961 (22,213)	7.9	5,972 (9,570)	28.5 (43.1)
	単独	14,788	5.4	20,082	7.5	△5,294	△26.4
	災害復旧事業費	1,458	0.5	1,354	0.5	104	7.7
	補助	1,231	0.4	1,181	0.4	50	4.2
	単独	227	0.1	173	0.1	54	31.1
小計	43,179	15.6	42,397	15.9	782	1.8	
その他	物件費	31,801 (32,297)	11.5	32,513 (32,539)	12.2	△712 (△242)	△2.2 (△0.7)
	維持補修費	2,258	0.8	2,282	0.9	△24	△1.1
	補助費等	21,586 (21,604)	7.8	17,593 (17,614)	6.6	3,993 (3,990)	22.7 (22.7)
	積立金	106	0.0	19	0.0	87	471.1
	投資及び出資金	562	0.2	360	0.1	202	56.0
	貸付金	13	0.0	13	0.0	0	0.0
	繰出金	18,051	6.5	16,803	6.3	1,248	7.4
	予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
小計	74,477	26.8	69,683	26.1	4,794	6.9	
合計	277,111 (282,475)	100.0	267,033 (268,333)	100.0	10,078 (14,142)	3.8 (5.3)	

※（ ）内は前倒し分を含む

増減の主なもの

人件費	・職員費(会計年度任用職員制度の導入等(+18.9億円)、退職手当(+6.7億円))
扶助費	・障害福祉サービス給付事業(+10.0億円) ・施設等利用給付費等事業(+9.5億円)
公債費	・都市計画事業債償還金(△15.4億円)
普通建設事業費	・新南部清掃工場整備・運営事業(+86.6億円) ・校舎・屋体等整備事業(△16.6億円)
物件費	・教師用教科書・指導書購入費(+2.6億円) ・賃金の減(人件費への移行分)(△9.0億円)
補助費等	・公共下水道事業に対する繰出金(+21.1億円) ・国民体育大会等開催事業(+15.1億円)
繰出金	・介護保険特別会計繰出金(+9.7億円) ・後期高齢者医療特別会計繰出金(+2.0億円)

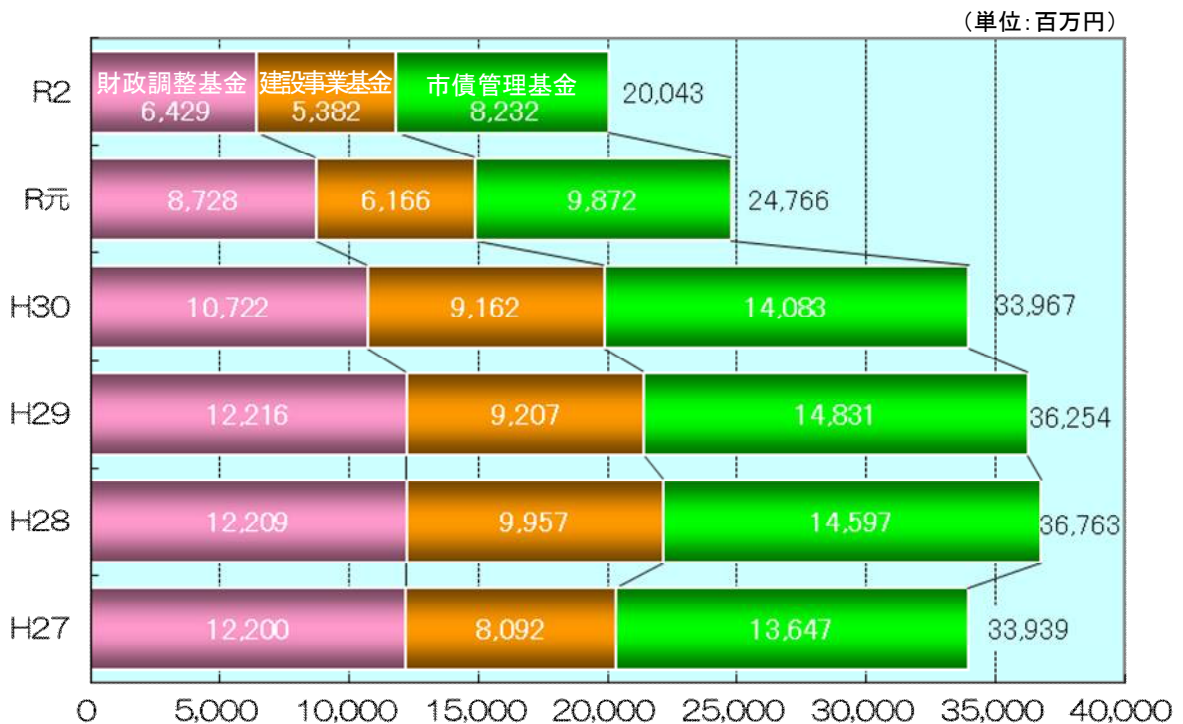
1 一般会計予算規模の推移



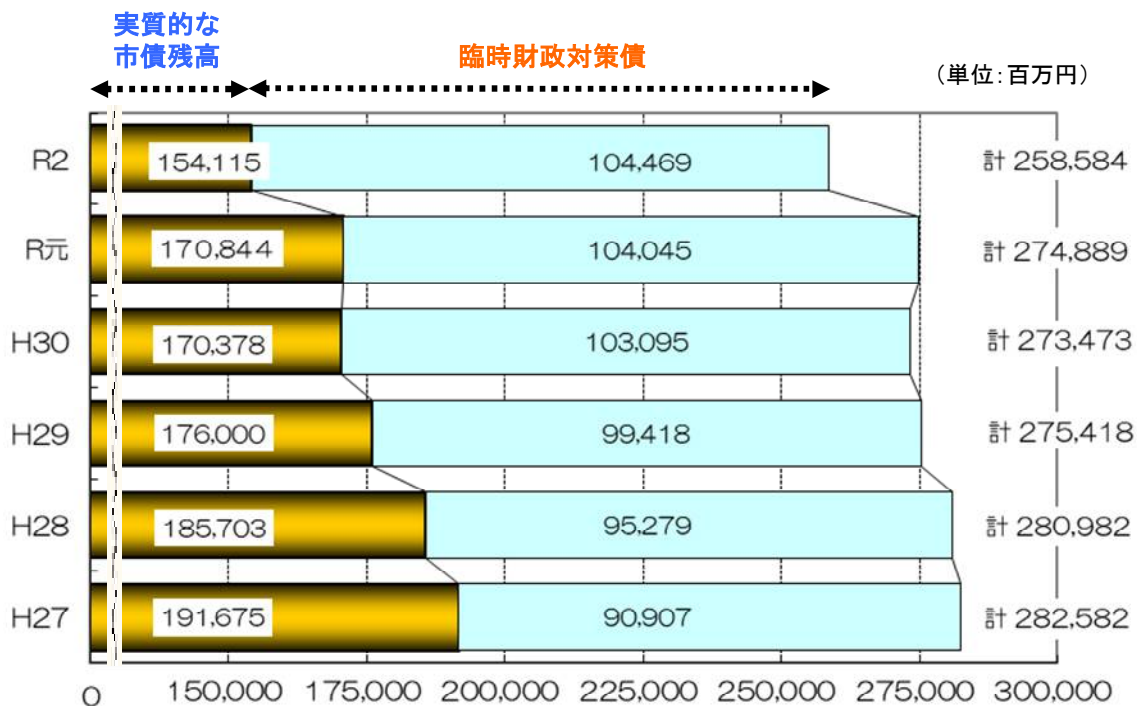
※上部分は前年度への前倒し分

2 基金残高の推移

- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高。
 (2) H30年度までは決算額、R元年度及び2年度は当初予算時の見込額。

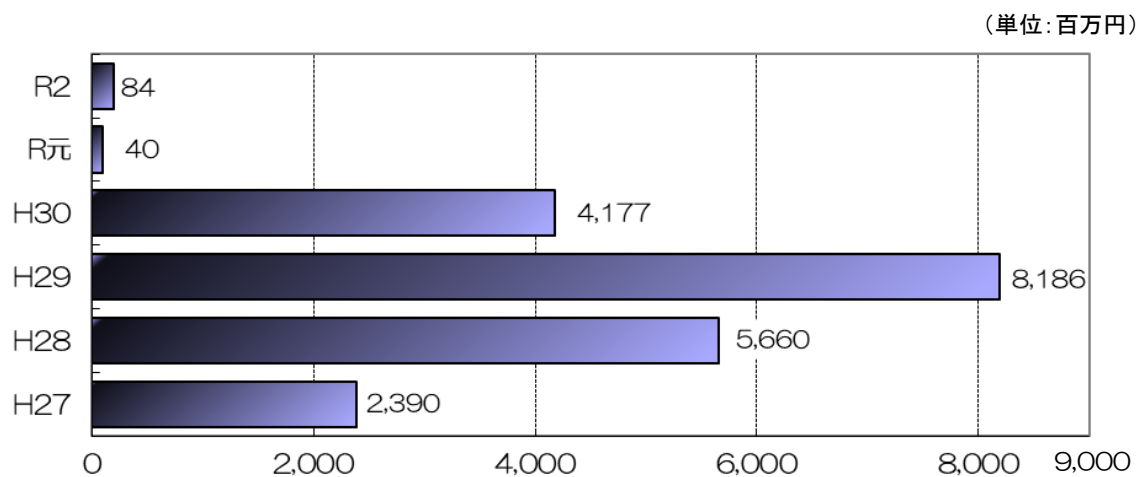


3 市債残高の推移



- (1) グラフの左部分は、臨時財政対策債を除いた実質的な市債残高。
- (2) グラフの右部分は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債。
- (3) H29年度までは同意ベースの決算額、30年度は決算見込額、R元、2年度は当初予算時の見込額。
- (4) R2年度は、公共下水道事業（雨水）の市債残高を公共下水道事業特別会計に移管している。

4 プライマリーバランス（基礎的財政収支）の推移



- (1) プライマリーバランスとは、市債を除いた歳入と元金を除いた歳出を比較したもの。
- (2) 各年度の当初予算時のプライマリーバランスは黒字を維持している。
(実質的な地方交付税である臨時財政対策債を除いたもの。)

●基本政策

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

- 1.豊かな地域資源を生かした鹿児島オリジナルの魅力の向上
- 2.スポーツで人が行き交い、盛り上がるまちづくり
- 3.観光客の受入体制や国内外との交流体制の強化

2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

- 1.安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり
- 2.高齢者が元気に生き生きと暮らせるまちづくり
- 3.障害のある方へのきめ細かな福祉の充実
- 4.安全・安心に暮らせる、災害に強い強靱なまちづくり
- 5.健康づくりや保健予防の取組の充実

3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

- 1.再生可能エネルギーや省エネルギー技術の利用・導入促進
- 2.環境にやさしいまちづくり
- 3.花と緑が彩る、うるおいのあるまちづくり

4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

- 1.若者や女性が安心して働き、活躍できる雇用の場づくり
- 2.雇用を生み出す地域産業の魅力・競争力の強化
- 3.豊かな自然を守り、育む農林水産業の活性化

5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

- 1.生きる力を育み、学びを支援する教育環境の充実
- 2.市民文化・スポーツの振興
- 3.男女共同参画社会の推進

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

- 1.市街地や地域拠点の新たな魅力づくり
- 2.快適便利な住環境・交通環境づくり

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

- 1.協働と連携によるまちづくり
- 2.時代に合った行政運営と、将来を見据えた健全な財政運営